

ワイヤレスキーボード&マウス TK-FDM022 シリーズ ユーザーズマニュアル

このたびは、エレコムワイヤレスキーボード&マウスTK-FDM022シリーズをお買い上げいただき誠にありがとうございます。このマニュアルではTK-FDM022シリーズの操作方法と安全にお取り扱いいただくための注意事項を記載しています。ご使用前に、必ずお読みください。また、このマニュアルを読み終わったあとは、大切に保管しておいてください。このマニュアルでは、一部の表記を除いてTK-FDM022シリーズを「本製品」と表記しています。

■絵表示の意味

- 警告** この表示の注意事項を守らないと、火災・感電などによる死亡や大けがなど人身事故の原因になります。
- 注意** この表示の注意事項を守らないと、感電やその他の事故によりけがをしたり、他の機器に損害を与えたりすることがあります。
- 「してはいけない」ことを示します。
- 「しなければならない」ことを示します。
- 「注意していただきたいこと」を記載しています。
- 「お読みいただきたいこと」や「参考にしていただきたいこと」を記載しています。
- 「知っている」と便利なことを記載しています。

安全にお使いいただくために

けがや故障、火災などを防ぐために、ここで説明している注意事項を必ずお読みください。

- 警告**
 - 本製品に水や金属片などの異物が入ったときは、すぐに使用を中止し、レシーバユニットをパソコンから取り外して、キーボードやマウスから電池を取り出してください。そのまま使用すると、火災や感電の原因になります。
 - 本製品が発熱している、煙がでているなどの異常があるときは、すぐに使用を中止し、パソコンをシャットダウンさせ、火傷しないように発熱していないことを十分確認した後、レシーバユニットをパソコンから取り外し、キーボードやマウスから電池を取り出してください。そのあとで、お買い上げの販売店またはエレコム総合インフォメーションセンターまでご連絡ください。そのまま使用すると、火災や感電の原因になります。
- 本製品を落としたり、ぶつかけたりしないでください。万一、本製品が破損した場合は、すぐに使用を中止し、レシーバユニットをパソコンから取り外して、キーボードやマウスから電池を取り出してください。そのあとで、お買い上げの販売店またはエレコム総合インフォメーションセンターまでご連絡ください。破損したまま使用すると、火災や感電の原因になります。
- 本製品の分解や改造、修理などをご自分でしないでください。火災や感電、故障の原因になります。故障時の保証の対象外となります。
- 本製品を火中に投入しないでください。破裂により火災やけがの原因になります。
- レシーバユニットはぬれた手で抜き差ししないでください。また、加工したり、無理に曲げたりしないでください。火災や感電の原因になります。

- 注意**
 - 本製品を次のようなところには置かないでください。
 - 日のあたる自動車内、直射日光のあたるところ、暖房器具の周辺など高温になる場所
 - 多湿なところ、結露をおこすところ
 - 平坦でないところ、振動が発生するところ
 - マグネットの近くなどの磁場が発生するところ
 - ほこりの多いところ
- 本製品は防水構造ではありません。水などの液体がかからないところで使用または保存してください。雨、水しぶき、ジュース、コーヒー、蒸気、汗なども故障の原因となります。

- 本製品の誤動作によって、重大な影響を及ぼす恐れのある機器では使用しないでください。
 - マウスをガラスなどの透明な場所や鏡など強く反射する場所で使用すると、光学式センサーが正しく機能せず、マウスカーソルの動きが不安定になります。
 - 1ヶ月以上キーボードやマウスを使用しない場合は、レシーバユニットをパソコンから取り外してください。
 - 本製品を廃棄するときは、お住まいの地域の条例および法令に従って処分してください。
 - マウスの光学式センサーの光を直接見ると目を痛めることがありますので注意してください。

■電池について

- 注意**
 - 本製品には単4形アルカリ乾電池、単4形マンガン乾電池、または単4形ニッケル水素2次電池を使用してください。
 - 電池は新しいものと古いものを混ぜて使用したり、分解したりしないでください。
 - 本製品を長期間使用しないときは、電池を取り出しておいてください。液漏れや故障の原因になります。

■お手入れのしかた

本製品が汚れたときは、乾いたやわらかい布でふいてください。

- シンナー、ベンジン、アルコールなど揮発性の液体を使用すると、変質や変色を起こす恐れがあります。

■ご使用にあたって

本製品を使用したことによって生じた動作障害やデータの損失などの損害に対しては、当社は一切の責任を負いかねます。

ワイヤレス(無線)についての注意事項

- 本製品は2.4GHz帯全域を使用する無線設備であり、移動体識別装置の帯域が回避可能です。電波方式にはFH-SS方式を採用し、与干渉距離は10mです。2.4GHz帯は、医療機器やBluetooth、IEEE802.11b/11g/11n規格の無線LAN機器などでも使用されています。
- 本製品を使用する前に、近くで「他の無線局*」が運用されていないか確認してください。
 - 万一、本製品と「他の無線局*」との間に電波干渉が発生した場合は、使用場所を変更するか、または本製品の使用を停止してください。
- *「他の無線局」とは、本製品と同じ2.4GHz帯を使用する産業・科学・医療機器のほか、他の同種無線局、工場の生産ラインなどで使用される免許を要する移動体識別用構内無線局、免許を要しない特定小電力無線局、アマチュア無線局を示します。

- 警告**
 - 重大な影響を及ぼす恐れのある機器では使用しないでください。まれに外部から同じ周波数の電波や携帯電話の電波の影響を受け、誤動作する、動作が低下する、または動作しなくなることがあります。
 - 病院など、電波使用が禁止されている場所では本製品を使用しないでください。本製品の電波で電子機器や医療機器(例えばペースメーカー)などに影響を及ぼす恐れがあります。
 - 航空機の安全運航に支障をきたすおそれがあるため、無線式キーボードおよびマウスを航空機内で使用することは、航空法で禁止されています。ご搭乗前にキーボードおよびマウス本体の電池を取り出し、ご搭乗後は常にご使用にならないようお願いいたします
- *本製品の故障等により事故や社会的な損害などが生じてても、弊社ではいかなる責任も負いかねますので、ご了承ください。

パッケージ内容の確認

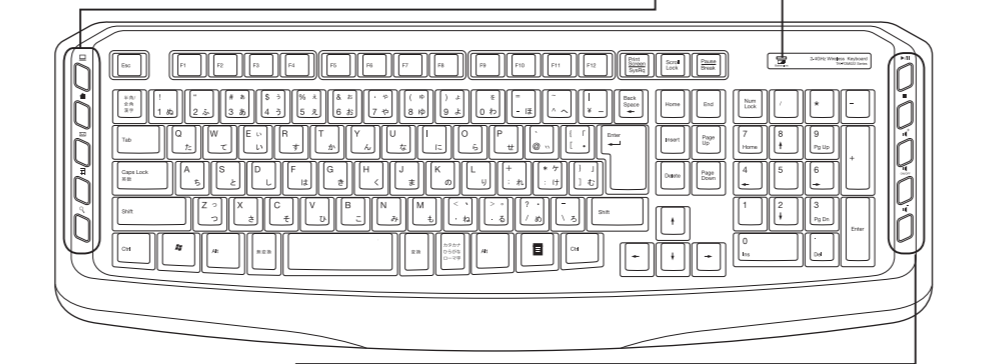
本製品のパッケージには次のものが入っています。作業を始める前に、すべてが揃っているかを確認してください。なお、梱包には万全を期しておりますが、万一不足品、破損品などがありましたら、すぐにお買い上げの販売店またはエレコム総合インフォメーションセンターまでご連絡ください。

- キーボード本体 1個
- マウス本体 1個
- レシーバユニット 1個
- 動作確認用単4形アルカリ乾電池 4本
- ユーザーズマニュアル(このマニュアルです) 1部

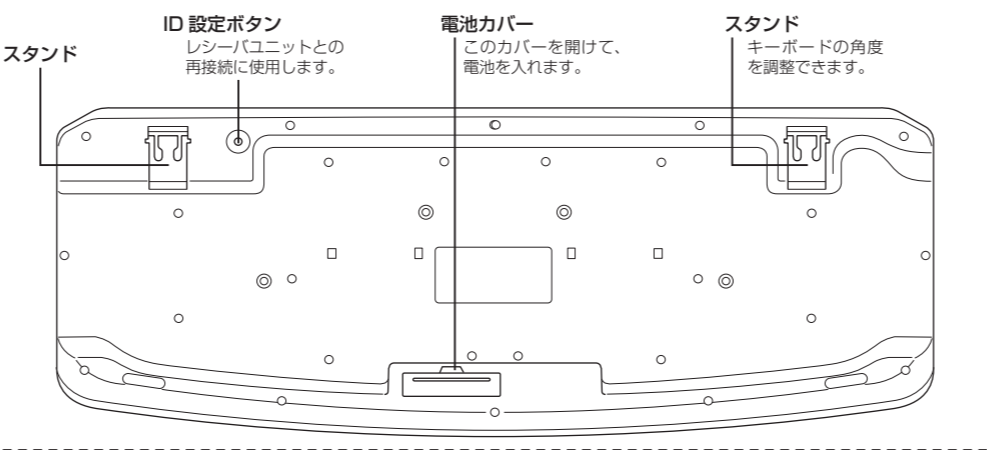
各部の名称とはたらき

■キーボード

- マイコンピュータ**
Windows®7をお使いの場合は「コンピュータ」画面、Windows Vista®をお使いの場合は「コンピュータ」画面、Windows®XPをお使いの場合は「マイコンピュータ」画面を起動します
- インターネット**
Webブラウザを起動します。
- メール**
メールソフトを起動します。
- 電卓**
電卓を起動します。
- 検索**
検索ウィンドウを起動します。
- 電池残量表示ランプ**
電池交換の時期をお知らせします。電池残量が少なくなると、一定時間赤く光ります。



- *1メディアプレーヤーなどがアクティブな時
- 再生 / 一時停止**
音楽などのメディアを再生します。再生中に押すと一時停止します。*1
- 停止**
音楽などのメディアを停止します。*1
- ボリューム +**
Windows®全体のボリュームを上げます。
- ミュート**
Windows®全体の音声出力を止めます。もう一度押すと、ミュートを解除します。
- ボリューム -**
Windows®全体のボリュームを下げます。

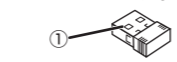


■マウス

- ①左ボタン**
パソコンの操作の左クリックに使います。
- ②右ボタン**
パソコンの操作の右クリックに使います。
- ③ホイール**
指で前後に回転させたり、ボタンのように押すことで、パソコンの操作ができます。
- ④電源スイッチ**
マウスの電源を入(ON) / 切(OFF)します。
- ⑤ID設定ボタン**
レシーバユニットとの再接続に使用します。
- ⑥光学式センサー**
マウス本体に電源が入ると赤く点灯します。マウス本体を動かしたときに、このセンサーによってマウスの動きが検知されます。
*センサーの光を直接見ると目を痛めることがありますので注意してください。
- ⑦電池カバー**
このカバーを開けて、電池を入れます。
- ⑧レシーバユニット収納部**
レシーバユニットを収納します。
- ⑨電池収納部**
電池を収納します。
- ⑩電池取り出しシート**
電池を電池収納部から取り出すときに使います。

- ①USBコネクタ(オス)**
パソコンのUSBポートに接続します。

■レシーバユニット



使用時の準備

キーボードの電池を入れる / 交換する

キーボードを使用するときは、単4形電池2本をキーボードに入れます。

- 1** 電池カバーを取り外します。
- 2** 電池を入れます。
- 電池のプラス⊕とマイナス⊖の向きを正しく入れてください。
- 3** 電池カバーを元通りに取り付けます。

- 種類の違う電池や新しい電池と古い電池を混ぜて使わないでください。電池が液漏れを起こし、故障の原因となります。

■電池を交換するときは

- 1** 電池カバーを取り外します。
- 2** 電池を取り出します。
- 3** 電池を入れます。
- 4** 電池カバーを元通りに取り付けます。

マウスの電池を入れる / 交換する

マウスを使用するときは、単4形電池2本をマウス本体に入れます。

- 1** 電池カバーを取り外します。
- 2** 電池取り出しシートの表記にあわせて電池を入れます。
- 電池のプラス⊕とマイナス⊖の向きを正しく入れてください。

- 3** 電池カバーを元通りに取り付けます。

■電池を交換するときは

- 1** 電池カバーを取り外します。
- 2** 電池取り出しシートを使って電池を取り出します。
- 3** 電池を入れます。
 種類の違う電池や新しい電池と古い電池を混ぜて使わないでください。電池が液漏れを起こし、故障の原因となります。
- 4** 電池カバーを元通りに取り付けます。

マウス本体の電源を入(ON) / 切(OFF)する

- マウス本体の電源を入れる**
本製品を使用するときは、マウス本体の電源を入れます。電源スイッチをONの位置にスライドさせます。

- マウス本体の電源を切る**
本製品を使用しないときは、マウス本体の電源を切ることで、電池を節約できます。電源スイッチをOFFの位置にスライドさせます。

- スリープ状態から復帰する**
マウスの右ボタンをクリックします。
 電池の消耗を抑えるため、電源スイッチがONの状態でも操作せずに一定時間経過すると、マウスが自動的にスリープ状態に移行します。

レシーバユニットを収納する / 取り出す

■レシーバユニットを収納する

- 1** 電池カバーを取り外します。
- 2** レシーバユニットをレシーバユニット収納部に収納します。
- 3** 電池カバーを元通りに取り付けます。

■レシーバユニットを取り出す

- 1** 電池カバーを取り外します。
- 2** レシーバユニットをレシーバユニット収納部から取り出します。
- 3** 電池カバーを元通りに取り付けます。

レシーバユニットを取り付ける

Step1 USBポートを確認する

お使いのパソコンのUSBポートを確認してください。



USBポート

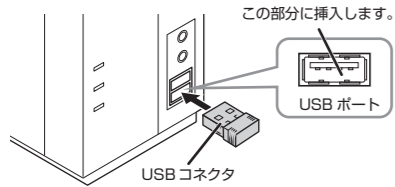
- USBポートはどのポートでも使用できます。
- USBハブ経由でも使用できます。ただし、USBハブの電源供給能力によっては本製品が動作しない場合があります。

Step2 レシーバユニットを取り付ける

1 パソコンを起動します。

- Windows®の起動時にログオンするアカウント(ユーザー名)を尋ねられた場合は、必ず「コンピュータの管理者」権限があるアカウントでログオンしてください。
- Windows®が起動し、操作可能な状態になるまでお待ちください。

2 レシーバユニットをパソコンのUSBポートに挿入します。



この部分に挿入します。

USBポート

USBコネクタ

- コネクタの向きと挿入場所を十分に確認してください。
- 挿入時に、強い抵抗を感じる場合は、コネクタの形状と向きが正しいか確認してください。無理に押し込むとコネクタが破損したり、けがをする恐れがあります。

3 Windows標準ドライバが自動的にインストールされます。

■レシーバユニットを取り外す場合

本製品はホットプラグに対応しています。パソコンが起動した状態でもレシーバユニットを取り外すことができます。

■再接続する

レシーバユニットとの接続が切れて、キーボードまたはマウスが動作しなくなったときは、次の手順で再接続を行ってください。

Windowsが起動し、キーボードおよびマウスの電源はオンにした状態で以下の作業を行ってください。

以下の1から3の手順は8秒以内に行ってください。

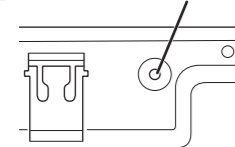
1 マウスのID設定ボタンを押します。

ID設定ボタン



2 キーボードのID設定ボタンを押します。

ID設定ボタン



表面の電池残量表示ランプが点滅します。

Step3 動作を確認する

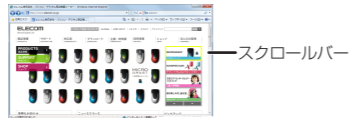
マウスの動作を確認する

Windows®の「Internet Explorer」でマウスの上下スクロールが正常に動作しているかを確認します。

1 [スタート]ボタンから[すべてのプログラム] - [Internet Explorer]の順にクリックします。

2 Internet Explorerでお好みのホームページを表示させ、画面のサイズを上下のスクロールバーが表示されるように変更します。

※ここでは例としてエレコムホームページを表示させています。



スクロールバー

3 マウスのホイールを前後に動かします。

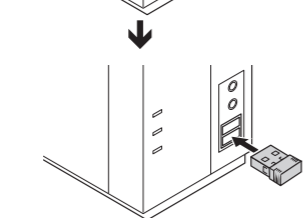
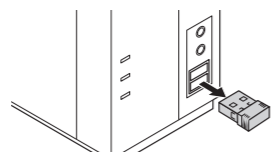


指の動きに合わせて画面が上下にスクロールすれば、正常です。

- スクロール機能に対応していない一部のアプリケーションでは、ホイールを操作しても動作しない場合があります。

- パソコンの起動中に何度も抜き差しを繰り返すと、動作が不安定になることがあります。このような場合は、パソコンを再起動してください。

3 レシーバユニットを抜き差しします。



表面の電池残量表示ランプの点滅が消えます。

1~3の手順は8秒以内に行ってください。

4 マウスとキーボードが正しく動作しているか確認してください。

動かない場合は、もう一度手順1~3をお試しください。

トラブルシューティング

正常に動作しないとき

■キーボードやマウスが正常に動作しない

- ➔マウスがスリープ状態になっていませんか？マウスを操作してスリープ状態を解除してください。
- ➔マウスの電源がOFFになっていませんか？マウス底面にある電源スイッチをONの位置にスライドしてください。

➔マウスを使用している場所の光の反射率が光学式マウスに適していない可能性があります。光学式マウスに対応したマウスパッドの上で本製品を使用してください。

➔スチール製の机などの金属面では電波の到達距離が短くなる場合があります。この場合、動作が安定するところまで、キーボードやマウスをレシーバユニットへ近づけてください。レシーバユニットがパソコン本体などのUSBポートに正しく接続されていない可能性があります。一度レシーバユニットをUSBポートから取り外して、接続し直してください。

➔レシーバユニットとキーボードやマウスの距離が離れすぎているか、レシーバユニットが電波を受信できない方向を向いている可能性があります。レシーバユニットの位置を調整するなどしてください。本製品の動作範囲は、レシーバユニットとキーボード本体が半径10m以内です。使用環境によっては、約10mの範囲内でもキーボードが正常に動作しない場合があります。その場合は、動作が安定するところまで、キーボードをレシーバユニットに近づけてください。



半径約10m

レシーバユニット

➔本製品を複数で使用したり、他のワイヤレス機器と同時に使用すると、電波が干渉する可能性があります。他のワイヤレス機器のチャンネルを変更してください。(本製品同士ではチャンネル回避自動機能が動作します。)

➔電池の残量が少なくなると動作が不安定になります。「キーボードの電池を入れる/交換する」(表面)または「マウスの電池を入れる/交換する」(表面)を参照し、早めに新しい電池に交換してください。

- 本製品に付属のアルカリ乾電池は動作確認済みです。製品の流通過程で乾電池が自然放電し消費していることがあります。
- キーボードの電池残量が少なくなったときは、電池残量表示ランプが一定時間赤く光ります。

※キーボードは通常はスタンバイモードで待機し、キーの入力があったときに自動的に復帰します。一定時間入力が無ければスタンバイモードに戻ります。

※マウスを使用しないときは電源を切っておくと、電池を節約できます。

➔レシーバユニットとキーボードおよびマウスとの接続が切れている可能性があります。「再接続するには」を参照し、再接続してください。

➔Windows標準ドライバが正しくインストールされず、本製品がWindows®に「不明なデバイス」として登録されている可能性があります。本製品は通常は「USBヒューマンインターフェイスデバイス」として登録されます。「不明なデバイス」になっている場合は、「不明なデバイス」の削除方法を参照し、デバイスマネージャから「不明なデバイス」を削除したあと、「レシーバユニットを取り付ける」からやり直してください。

➔マウスが正常に動作しないときは、ノートパソコンのタッチパッドなど、他のドライバと競合している可能性があります。本製品を正常に使用するには、タッチパッドのドライバを削除する必要があります。ただし、ドライバを削除するとタッチパッドが使用できなくなったり、タッチパッド専用の機能が使用できなくなる可能性があります。詳しくはパソコンのメーカーにお問い合わせください。

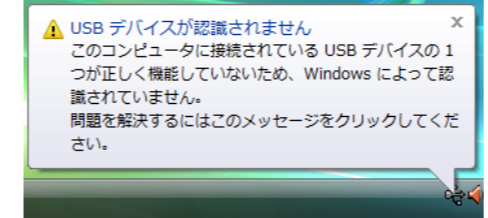
■マウスカーソルは動くが、ホイールが動かない

➔スクロール機能に対応していない一部のアプリケーションでは、ホイールを操作しても動作しない場合があります。

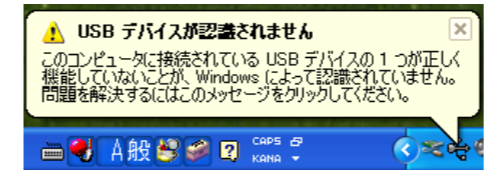
■本製品が正常に認識されない、動作しない

- ➔レシーバユニットをUSBハブに接続している場合、USBハブを使用せずに電力供給が安定しているパソコン本体のUSBポートに接続してください。
- ➔レシーバユニットを一度USBポートから抜き、接続しなおしてください。それでも正しく認識されず、以下のようなメッセージが表示された場合は、一度パソコンをシャットダウンし、レシーバユニットを別のUSBポートに押し変えてからパソコンを起動してください。

Windows® 7、Windows Vista® の場合



Windows® XP の場合



改善しない場合は、お買い上げの販売店またはエレコム総合インフォメーションセンターへご連絡ください。

「不明なデバイス」の削除方法

Windows標準ドライバが正しくインストールされず、「不明なデバイス」として登録されているときは、デバイスマネージャから「不明なデバイス」を削除したあと、「レシーバユニットを取り付ける」(表面)からやり直してください。

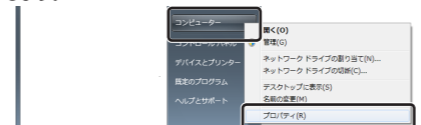
- 「不明なデバイス」が複数ある場合、削除をはじめめる前にとの「不明なデバイス」が本製品の認識情報であることを確認してください。レシーバユニットを一度パソコンから取り外して、再度「不明なデバイス」の表示が消えれば、それが本製品の認識情報です。
- 以下の手順どおりにドライバを削除しても「不明なデバイス」が消えない場合は、パソコンに何らかの問題が発生している可能性がありますので、パソコンメーカーにお問い合わせください。

レシーバユニットをパソコンに接続した状態で、次の手順に従って「不明なデバイス」を削除してください。

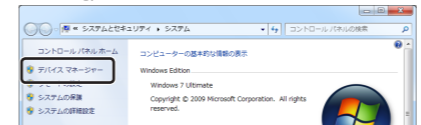
1 デバイスマネージャを表示します。

Windows® 7、Windows Vista® の場合

1. [スタート]ボタンをクリックし、[コンピュータ] (Windows Vista® では[コンピュータ]) を右クリックします。
2. [プロパティ]をクリックします。



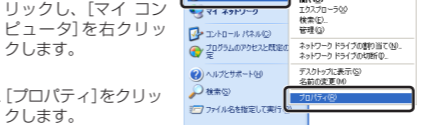
3. [デバイス マネージャ] (Windows Vista® では[デバイス マネージャ]) をクリックします。



4. [ユーザーアカウント制御]が表示された場合は、[続行]をクリックします。

Windows® XP の場合

1. [スタート]ボタンをクリックし、[マイコンピュータ] を右クリックします。
2. [プロパティ]をクリックします。



3. [ハードウェア] タブをクリックします。

4. [デバイス マネージャ] をクリックします。

2. [デバイス マネージャ] 画面が表示されるので、「不明なデバイス」を右クリックし、[削除] をクリックします。

3. [OK] をクリックします。

4. レシーバユニットをパソコンのUSBポートから取り外し、パソコンを再起動します。

5. 「レシーバユニットを取り付ける」からやり直します。

キーボードの一部が正しく入力されない

➔キーボードが101英語キーボードとして誤認識されている可能性があります。これはお使いのキーボードをWindows®自体が英語キーボードと間違えて認識するために起こる問題です。そのため、キーボードに印字されている文字を入力しても実際の画面には異なる文字が表示されます。

●誤認識された場合の入力例



101英語キーボードへの誤認識の問題を解決する方法として対策ユーティリティである「USBキーボード101⇒106変更ユーティリティ」を弊社のホームページに用意しておりますので次の手順でご利用ください。

1 弊社ホームページよりユーティリティをダウンロードします。

ダウンロード先

<http://www.elecom.co.jp/support/download>

- トップページの[サポート情報]から入ることができます。
- [ダウンロード]ページにある一覧から「フルキーボード」を選択し、「TK-FDM022 シリーズ」をお選びください。
- ご使用のOSに対応した「USBキーボード101⇒106変更ユーティリティ」をダウンロードしてください。
- ※ホームページの内容変更によりユーティリティの場所が変更される場合があります。

2 ダウンロードしたファイルをダブルクリックして任意の場所に解凍します。

3 インストール・使用方法については、ユーティリティに添付されている「readme.txt」の内容をご覧ください。

基本仕様

製品名	ワイヤレスキーボード / ワイヤレスマウス
製品型番	TK-FDM022 シリーズ
対応機種	USBインターフェイスを装備したPC/AT互換機
対応OS	Windows7、Vista(～SP2)、XP(SP2～SP3)
対応インターフェイス	USB
キー数	108キー(日本語)
ホットキー数	10キー
キータイプ	メンブレン
キーピッチ	19mm
キーストローク	3.5mm
マウス分解能	1600カウント
電波周波数	2.4GHz帯
電波方式	FH-SS
電波到達距離	非磁性体(木の机など): 約10m 磁性体(鉄の机など): 約3m ※弊社環境でのテスト値であり保証値ではありません。
寸法	キーボード: W465.1 × D174.5 × H24.5(mm) マウス: W58.0 × D95.0 × H35.5(mm) レシーバユニット: W14.6 × D19.1 × H6.3(mm)
動作温度/湿度	5～40℃ / ～90%RH(ただし結露なきこと)
保存温度/湿度	-10～60℃ / ～90%RH(ただし結露なきこと)
対応電池	単4形アルカリ乾電池、単4形ニッケル水素2次電池、単4形アルカリ乾電池、単4形マンガン乾電池
動作時間目安	キーボード 約10ヶ月 マウス 約1ヶ月

ユーザーサポートについて

[よくあるご質問とその回答]
www.elecom.co.jp/support
こちらから製品Q&Aをご覧ください。

[お電話・FAXによるお問い合わせ(ナビダイヤル)]
エレコム総合インフォメーションセンター
TEL: 0570-084-465
FAX: 0570-050-012

[受付時間]
9:00～19:00
年中無休

ワイヤレスキーボード & マウス
TK-FDM022 シリーズ
ユーザーズマニュアル
2011年11月10日第2版
エレコム株式会社

- 本書の著作権は、エレコム株式会社が保有しています。
- 本書の内容の一部または全部を無断で複製/転載することを禁止させていただきます。
- 本書の内容に関するご意見、ご質問がございましたら、エレコム総合インフォメーションセンターまでご連絡願います。
- 本製品の仕様および外観は、製品の改良のため予告なしに変更する場合があります。
- 本製品を使用したことによる他の機器の故障や不具合等につきましては、責任を負いかねますのでご了承ください。
- 本製品のうち、戦略物資または役務に該当するものの輸出にあたっては、外為法に基づく輸出または役務取引許可が必要となります。
- WindowsおよびWindowsロゴは、マイクロソフトの企業グループの商標です。
- その他本マニュアルに記載されている会社名・製品名等は、一般に各社の商標ならびに登録商標です。